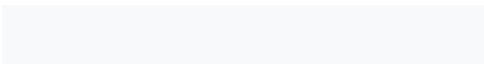




STUDY TREK
AUSTRALIA

Short Term Student Orientation Booklet

(短期学生オリエンテーション冊子)





STUDY TREK
AUSTRALIA

学生の皆さん、オーストラリアへようこそ! Welcome to Australia!

プログラム期間中、努力をすればするほど、結果になって自分に返ってきます。このプログラムを成功につなげる為に何事にも一生懸命参加し、頑張りましょう。

滞在中には、順調な時も困難な時もある事でしょう。ホストファミリー、お友達、STA コーディネーター、そして STUDY TREK AUSTRALIA (STA)の他のスタッフ達がそばにいて、いつでも皆さんの助けになってくれるという事を覚えておきましょう。皆さんは決してひとりぼっちではありません。質問があれば STA コーディネーターもしくは Teacher Escort (引率者) にいつでも何でも遠慮なく聞いてください。

Part 1: STA のホームステイプログラムから得られるもの (What to Expect)

STA はホームステイプログラムを通じて、オーストラリアのライフスタイルを直に体験できるというユニークな機会を提供しています。STA は皆さんがオーストラリアの文化を体験したいという強い思いを大切にし、それぞれのホストファミリーに預ける責任を引き受けています。

ホームステイで、ホストファミリーと一緒に過ごす事によって、オーストラリアの習慣や文化を学び取り、皆さんも家族の一員となれるようにしましょう。STA コーディネーター がホストファミリーの面接を実施します。STA コーディネーターはホストファミリー宅を訪問し、ホストファミリーとして適しているかを確認し、各ファミリーと各学生をマッチさせます。

オーストラリアにはとても厳しい差別防止の法律があるため、以下のような理由だけではプログラムからホストファミリーを除外することはできません。

- 人種の理由
- 母親だけの家庭、または 父親だけの家庭
- 年配の夫婦 (退職した年配の夫婦は毎日の生活に時間の余裕があるので、学生とゆっくり時間を過ごすことができます。) ホストファミリーは全員無給のボランティアです。皆さんが滞在している間にかかる余分な食費や交通費をまかなう為、少額の必要経費が支払われます。

オーストラリアの治安は割と良い方ですが、それでも危険なことが多々あります。ホストファミリーや STA コーディネーターが危険だと判断した場合は必ずその判断を尊重し直ぐに従って下さい。オーストラリアに住んでいる現地の人たちは皆さんよりも治安や安全性についてよく知っているということを必ず忘れないでください。

献身的な STA コーディネーターがプログラムの日程を慎重に計画し準備してきました。この体験が大成功になるかどうかは皆さん次第です。一人一人がホームステイ体験の中でベストを尽くし最高の結果を得られるよう頑張ってください。



STUDY TREK
AUSTRALIA

皆さんはそれぞれ違ったホストファミリーと滞在し、皆さんも人それぞれ違う人々なので、ホームステイ体験も十人十色となることでしょう。また日本との違いを沢山感じるかもしれません。皆さんは普段とは全く違うオーストラリアの生活を体験する為に来たんだということを覚えておきましょう。

学生がプログラムから得られるもの：(What Students can expect)

- 思いやり、友情、理解
- 家族に一員として扱われ、家事などの手伝いをする
- 英語に自信をつけ、語彙を増やす-つねに英語を話そうとする皆さんの努力が必要です
- 言語の壁による誤解
- オーストラリアでのライフスタイルと日本とでのライフスタイルの違いを理解し、招待された時は何事にも積極的に参加するよう努力する
- 買い物する時間が少しあるということ
- 食事は皆さんが普段食べ慣れている食事とは大変異なるということ

このプログラムから期待出来ない事：(What Students should not expect)

- 滞在中に流暢に英語を話せるようになる事
- グレートバリアリーフやエアーズロック、シドニーオペラハウスなど遠く離れた場所への観光
- ホストファミリーが学生のみなさんおライフスタイルを変えること
- ホストファミリーの子供と違い特別扱いされること
- 買い物目的のお出かけばかりすること
- ホストファミリーにいつも観光に連れて行ってもらうこと
- ホストファミリーにすべて払ってもらうこと-観光に連れて行ってもらったら、自分の分は自分で払うと申し出るようにしましょう。
- 学校の時間外で日本人のお友達とばかり一緒にいること

ホストファミリーが皆さんに期待する事: (What Host Families expect)

- 皆さんがフレンドリーな態度で接すること
- 皆さんが家族全員とコミュニケーションを取ろうとすること
- 日本とその文化について学ぶこと
- 皆さんが家族のルールを守ること
- 皆さんが家事などを手伝うこと
- 皆さんを家族の一員として迎え入れること
- 皆さんが日本へ帰国後も手紙や E メールをせめて一回は送ること

ホストファミリーが皆さんに望んでいない事: (What Host Families do not expect)

- 皆さんが流暢な英語を話すこと
- 皆さんが自分の寝室に長時間閉じこもること
- 皆さんが日本人の友達とばかり時間を過ごしたがること



STUDY TREK
AUSTRALIA

Part 2: ホームステイ (Homestay)

ホストファミリーとのコミュニケーションと皆さんの感情 (Communication and your feelings)

- ホストファミリー、スタッフ、オーストラリア人の学生とコミュニケーションを取るのは非常に重要です。
 - たとえ間違っても大丈夫です! 間違えて新しいことを学ぶので、間違えることは悪いことではありません。
 - 皆さんの日本の家族、学校、友達、家や近所などの写真をホストファミリーとの会話をするときの道具として使いましょう。皆さんが住む町と近隣にある都市との位置関係を示す小さな地図もあれば便利です。
 - STA のプログラムではホストファミリーと一緒にできるアクティビティーが宿題として出されます。ホストファミリーは皆さんと一緒に楽しんでくれることでしょう。
 - 英語力が弱いと思う場合でも挑戦し続けてください。いつも“please”と“Thank you”を忘れず笑顔を絶やさず、また辞書を活用しましょう。
 - もしだれかが皆さんの知らない単語を使った場合、恐れずに“sorry, what does ____ word mean?” (すみません、____はどういう意味ですか?) と聞くようにしましょう。必ず喜んで教えてくれることでしょう。また辞書が手元にある場合、辞書を引いてみましょう。分からなかった単語が分かれば、文章全体が明確になることがあります。
 - 恐れずに話し相手にゆっくり話してほしいと伝えましょう。“can you speak slowly for me please”(もう少しゆっくりお話しいただけますか?) そう伝えることで、皆さんが精いっぱい努力して話を聞こうとしていると分かってくれます。
- プログラムを成功させるにはコミュニケーションが不可欠だということを忘れないで下さい。

皆さんがホストファミリーと会話したりしないと、ホストファミリーが心配します。体調が悪いのではないか、なにかつらいことがあるのではないか、ホームシックではないか、さらには、皆さんがホストファミリーのことを嫌いではないか、とまで考え始めてしまうかもしれません。オーストラリアのホストファミリーは皆さんに皆さんの感情や考えをシェアして欲しいと思っています。

皆さんが心得るべき事：

- いつも感謝の気持ちを表す
- 自分の気持ちを隠さずに話す
- 家族全員と話をする
- ホストファミリーに来客がいてみんなで話をする場合も会話に積極的に参加する

マナー (Manners)

日本とオーストラリアのマナーは異なると感じる時があるかもしれません。自分のホストファミリーのマナーに合わせて下さい。

食卓のマナー：

- スープや麺類を食べる時、音を立てない、すすらない。オーストラリア人は音を立てて食べる事はお行儀が悪いとしています。静かに食べるようにしましょう。
- 与えられた食事を食べましょう。もし好きではないものを出されても、せめて二口ほどは試してください。どうしても食べられなければ、“I am sorry but I don't like this”. (ごめんなさい、でもこれは好きではありません) と言ってください。
- 口を閉じて噛みましょう。



STUDY TREK
AUSTRALIA

- 食卓でげっぷはしないようにしましょう。
- 口の中に食べ物が入っている状態でしゃべらないようにしましょう。
- 鼻水が出そうになったら、鼻をすすらず、ティッシュで鼻をかみましょう。(食卓でも大丈夫です)
- もしおかわりをしたい場合は“May I have some more please?”(...をもう少し頂けますか?) と言いましょ
- 食後は必ず、“Thank you” か “That was good (おいしかったです)” と言いましょ。もし席を立つときは“Excuse me, please”. 又は“Thank you for the lovely meal. May I leave the table?” と言いましょ。本来は全員が食べ終わるまで待つのが礼儀です。

ホストファミリーの家で (Your Host Family home)

自分が普段何気にしている多くの行動パターンを変える必要があるかもしれません。

- 浴室から出る時はきれいか確認しましょ。
- オーストラリアでは家の中ではドアにカギを掛けない家庭が多いです。部屋に入るとき(特にトイレ)は必ずノックしましょ。
- 浴室で時間をかけすぎないようにしましょ。また水を使いすぎないようにも気をつけましょ。
- インターネットを使って動画などをダウンロードしたりゲームをしたりしないようにしましょ。
- 自分の寝室で一人で長時間こもらないようにしましょ。
- インターネットやコンピューターゲームに長時間費やさないようにしましょ。
- 冗談でも男子学生が他の男子の性器を触ったりすることはオーストラリアでは冗談と受け止められません。一性的暴行にあたります。ホストファミリーの家や、受け入れ先の学校で絶対にしてはいけません。

浴室 (Bathrooms)

家庭水道の水は飲んでも大丈夫です。水不足の水制限のためシャワーは 6 分以内で済ませてください。

浴室で役立つヒント：

- オーストラリア人はシャワーを浴びる時スリッパを履きません。スリッパが必要なら自分のを使ってください。
- 歯磨きをするときにカップを使わないことが多いですが、必要ならばホストマザーかファーザーに言って借りてください。
- 浴室の床をできるだけ濡らさないで使いましょ。
- タオルをどこにかければいいのか、着替えをどこに置けばいいのか事前に確認しましょ。

女子の衛生管理 (Feminine Hygiene)

女子は生理用品の正しい捨て方についてホストマザーに確認しましょ。

- 使用済み生理用品は絶対にトイレに流さないで下さい。
- 使用済みの生理用品はトイレットペーパーに包みごみ箱に捨てます。一般的な家庭にはバスルーム、台所、寝室にごみ箱があります。屋外に大きなごみ箱もあります。



STUDY TREK
AUSTRALIA

台所 (Kitchen)

オーストラリアの台所や電気製品は日本とは使い方が違うかもしれません。ホストファミリーに使い方をいつも確認するようにしましょう。

寝室 (Bedrooms)

ホストブラザー・シスターと同じ寝室をシェアするかもしれません。皆さんは自分用のベッドを与えられるので、起床したら毎日シーツを整えてベッドメイキングをするよう心がけましょう。

- ベッドにはマットレスのシーツと、トップシーツ、そして「ドーナ」と呼ばれる掛け布団があります。
- 部屋はきれいに使いましょう。そして床に物を置いたままにしないようにしましょう。
- 夜中じゅう電気をつけたまま寝ないようにしましょう。

家事 (Family Chores)

ホストファミリーに自分がどんな家事を手伝えるか聞いて下さい。もし「何もしなくていいよ」と言われても、毎日聞くようにしましょう。

家事をする時は正しいやり方を聞きましょう。以下のお手伝いをしてみましょう。

- テーブルセッティング
- 食後のお皿を片付ける
- 食洗機に使ったお皿を入れる
- 食器洗い
- 食器を布巾で拭く
- ペットに餌をあげる

洗濯 (Washing your clothes)

- 洗濯をしてもらえるのか、自分ですべきかを聞いて下さい。
- 服は基本、外の物干しに干します。乾燥機のある家庭もありますが、乾燥機を使うのは許可をもらってからのみにして下さい。
- いつも自分が何かを使ったり何かをした後は片付けてきれいにしておきましょう。

寝る時間 (Bedtime)

- ホストファミリーの寝る時間が早いと感じるかもしれません。特に寝室を共用している場合は、ホストファミリーの生活と合わせるため、自分のいつもの就寝時間を変える必要があるかもしれません。遅い時間まで起きていると、ホストブラザーやホストシスターと問題がおきるかもしれません。
- オーストラリアの学生は通常、学校から帰った後、昼寝などはしません。疲れているときは早く寝ましょう。
- 朝にも家事を手伝える機会があるかもしれないので、朝の時間にも余裕を持てるようにしましょう。
- ホストファミリーに “What time do I need to get up in the morning?” 「朝何時に起きればいいですか」と聞いてみましょう。



STUDY TREK
AUSTRALIA

Part 3: オーストラリアの学校 (Australian Schools)

オーストラリアの学校は日本の学校よりゆったりとしているかもしれません。授業は日本と比べて構造化されておらず、インタラクティブ（対話的）な授業です。学校を一步出れば、先生ではなくホストファミリーが皆さんの責任者です。

教室では (Classroom expectations)

- ・ 分からないことがあればどんどん質問しましょう（又は授業が終わった後で先生に聞いてみましょう）
- ・ クラスの話し合いに参加しましょう。-自分の意見や考えを持ちしっかりと表現しましょう。
- ・ 質問の答えを考え、答える時は手を上げて大きな声で答えましょう。
- ・ 英語で話しましょう。

学校での食事 (Food)

- ・ ランチはホストファミリーが用意してくれます。

Part 4: 問題解決 (Problem Solving)

カルチャーショック・ホームシック (Culture Shock and Homesickness)

カルチャーショックは自分の国から離れて生活するうえで、普通に起きることです。

症状には：

- ・ 常に疲れを感じる。
- ・ とても自分の家族が恋しい。
- ・ オーストラリアの人たちを固定概念で見ってしまう。
- ・ 日本出身の人とばかり時間を過ごしたがる。
- ・ 日本語を話したがる。
- ・ 退屈に感じて、気力がない。
- ・ イライラし、感情が複雑である。
- ・ オーストラリアの文化や人について否定的に話す。

だれかに話をすれば、悩んでいる事が思ったほど悪くないと感じてスッキリするはずですが、引きこもったりしないでホームシックになったりカルチャーショックを経験した場合は誰かに必ず相談してください。

もし困ったことがあったら (If you have a problem)

どんな問題でも、困ったことがあればまず誰かに相談しましょう。ホストファミリーに話すのが一番いいでしょう。オーストラリア人はたいていの場合何か問題があれば、直接話すのが一番いいという考えです。

困ったことがあるときは以下に相談：

- ・ ホストファミリー
- ・ STA のコーディネーター
- ・ 日本からの引率者
- ・ もしお友達に困ったことがあると相談された場合- 自分だけでその子のために問題を解決しようとしたり、他の人にそのことを話したりしないようにしましょう。上記の誰かに相談するよう勧めて下さい。



STUDY TREK
AUSTRALIA

もし困ったことがあればまず先にオーストラリアにいる誰かに相談することがとても大切です！日本の家族に先に電話しないで下さい。日本の家族は遠いので、すぐに助けてもらうことはできません。

Part 5: オーストラリアでの生活 (Living in Australia)

医療 (Medical)

オーストラリアの医療システムは日本とは異なります。病気になった場合、先に医者の所に行きます。病院に行くのは医者が紹介状を書いたとき、また救急の場合のみです。オーストラリアは医学の多くの分野で世界の最先端であるため、オーストラリアの医者を信頼して大丈夫です。医者や歯医者は毎日決まった時間に開いています。もし医者に行く必要がある場合、ホストマザーかSTA コーディネーターに相談して下さい。予約を取るお手伝いをします。旅行保険の冊子を持参し、医者に診てもらった場合、その時に医療費を支払い、日本に帰ってから旅行保険に申請できるよう領収書を保管して下さい。

STA コーディネーターが必要であれば引率者が診察に立ち会えるよう手配します。

医薬品の安全管理 (Medicine)

- オーストラリアの家族は一般的に医薬品を安全のため戸棚にしまいます。
 - ホストファミリーの家に着いたら、ホストマザーまたはファーザーに手持ちの医薬品を渡して家族の医薬品と一緒に保管してもらってください。
 - 医薬品を使う必要がある場合、ホストマザーかファーザーに言って取ってもらってください。
 - 出発の日に日本に持って帰れるようホストマザーかファーザーに返してもらいましょう。
- 以下は皆さん自身の安全のため、またホストファミリーの小さな子供達の安全のためのルールです。何か質問や問題点がある場合、STA コーディネーターに相談して下さい。

緊急時/迷子 (Emergency / Lost)

学校でもらった名札を常時身に付けるようにして下さい。週末でもバックパックかカバンかポケットに入れて持参しましょう。名札の裏にはホストファミリー、STA コーディネーター、地区担当マネージャーの情報が書かれています。

もし迷子になったり、グループから離れてしまった場合でホストファミリーや友達があなたの居場所を知らない場合、以下の手順に従ってください：

- 自分の電話を使ってSTA コーディネーターに電話をする。－これがまず最初です
- 自分の電話を使ってホストファミリーに電話をする。
- 自分の電話を使って地区担当マネージャーに電話をする。
- もし電話を持っていない場合、近くの店か交番に行き、名札を見せ、"I am lost"(迷子になりました)または "Can you please call these numbers?" (この番号に電話して頂けますか?) と言う。
- 道で歩いている知らない人に聞かないようにしましょう。

生命の危機にかかわる場合や緊急の場合、どの電話からでも **000 (無料ダイヤル)**で **24 時間**、消防、警察、救急車につながります。

貴重品や個人の持ち物 (Personal Belongings / Valuables)

財布、携帯電話、パスポートやその他の貴重品の管理には十分に注意をしてください。これらの貴重品を置き忘れたりしないようにしましょう。また学校を出る時やバスから降りたりするときは忘れ物がないか必ず



STUDY TREK
AUSTRALIA

確かめて下さい。現金は全部持ち歩かずに最小限だけを持ち歩くようにし、残りの現金はカギをかけたスーツケースに保管して下さい。

飲酒、運転、喫煙 (Driving / Drinking /Smoking)

STA のプログラムでは学生が飲酒、喫煙、運転することは禁止されています。

電圧 (Electrical Voltage)

ホストファミリーに先に確認することなく、日本から持ってきた電気製品を使わないで下さい。オーストラリアの電圧は日本とは違うので、間違ったのを使用すると電気製品が壊れたり、ホストファミリーの家の電気回路が故障することもあります。

オーストラリアでの海水浴について (Swimming in Australia)

STA の短期プログラムに参加する学生はいかなる場合も下記の場所での水泳に関するアクティビティーに参加することは禁じられています。

水泳禁止例：

- 市民プール
- 川
- 海水浴場
- ダム
- 湖

以上の場所に限らず、公共での水泳を禁止とします。

自宅用プールに関しては、ホストマザー、ホストファザーによる監督の下のみ水泳は可能です。

大人がプールから離れる場合、すぐにプールから上がり、水泳をやめてください。

*禁止されているアクティビティー又はスポーツのリスト

English	Japanese
Abseiling	アブセーリング
Rock or mountain climbing	ロッククライミング 山登り
Horse riding	乗馬
Bungee jumping and associated activities	バンジージャンプ
Sand tobogganing	サントボガニング
Trampolining	トランポリン
Water activities, including but not limited to:	水上スポーツ (以下を含むがこれらに限定されるものではない)
White water rafting boating	ホワイトウォーターラフティング、ラフティング



STUDY TREK
AUSTRALIA

Water skiing	ウォータースキー
Swimming in backyard pool	自宅用プール
Swimming at the beach	海での水泳
Underwater diving using either scuba or snorkeling equipment	スキューバダイビング、シュノーケリングの用具を使った水中でのアクティビティー
Travelling in a car or other motorised vehicle driven by a probational driver (P-plater) is only allowed to and from school	試用期間運転免許 (P プレート) 所有者が運転する車、又はその他のエンジンモーターのついた乗り物には、学校通学目的のみ乗車可能。
Driving a car or other motorised vehicle	車、又はエンジンモーターのついた乗り物の運転
Partaking in adventure-like activities involving motorised vehicles including but not limited to:	エンジン付きの乗り物を使ったアドベンチャーアクティビティー (以下を含むがこれらに限定されるものではない)
Four-wheel driving	四駆自動車
Quad biking	クワッドバイク
Ride on mowers	四輪車草刈機
Farm buggies	牧場用バギー
Snow skiing and snowboarding	スキー、スノーボード

禁止行為 現在の裁判所の判決と州教育省のさまざまな制限により、訪問学生はプログラム内でもホームステイ家族とでも、リスクの高い学校外の活動に参加することが禁止されています。

禁止されている活動には以下が含まれます (ただし、これらに限定されません)。

電話・インターネットの使用 (Telephone / Internet)

以下のルールはホストファミリーの電話または、皆さん個人の携帯電話に該当します。

- 電話/インターネットの使用についてはホストファミリーのルールを確認しそれに従いましょう。家族によっては夜 9 時または就寝時間に電源を切りましょう。家族によってはキッチンカウンターに置いておかなければいけない場合もあります。
- 電話/インターネットの使用は必ずホストスクールのルールに従いましょう。ほとんどの学校では校内で電源を入れたり、電話を使ったりすることが禁止されています。
- ホストファミリー宅の電話を使用する場合は、許可を得てからにしましょう。
- オーストラリア国内の番号にかける場合も、電話を使ったときは電話代を支払うようにしましょう。
- 誰と話しているかをいつもホストファミリーに伝えましょう。



STUDY TREK
AUSTRALIA

- ホストファミリーの許可がない限り、日本へまたは日本からの電話(家族や友達)は午前 8 時から午後 8 時半の間にするようにしてください。
- 長電話をしないで下さい。
- ホストファミリーの許可を得たうえで、インターネットの使用はEメールのみにして下さい。
- ホストファミリーが皆さんにWi-Fiのアクセスを与える義務はありません。もしホストファミリーがアクセスをくれた場合でも、無制限ではないということを忘れないで下さい。
- プログラム中、どのデバイス上でも不適切なサイトにはアクセスしてはいけません。—ポルノも含まれますがポルノに限定されるものでなく、性的に露骨な漫画も含まれます。プログラム中他の人にそういった不適切なデータを見せてはいけません。

皆さんがホストファミリーのコンピューターを使ってダウンロードしたりネットサーフィンをすることはいかなる場合も**禁止**されています。

SNS (Social Media)

皆さんがブログや、Wiki やその他の SNS に投稿する内容には責任を持ってください。もしこれから投稿しようとしている内容に少しでも迷いがある場合、情報を見直し、投稿すべきかどうか考えて下さい。もし確信が持てない場合は投稿しなして下さい。

- 皆さんはホストファミリーの個人情報について投稿してはいけません。
- ホストファミリー、STA のスタッフ、先生や友達に、事前に許可を得る事なく写真や個人情報を載せることは禁止されています。
- STA についてなにか載せる場合、自分の行動に責任を持ってください。疑問があるときは STA コーディネーターに聞いて下さい。

Part 6:旅行 Travelling

出発日 (Departure Day)

- 必ずスーツケースが 20kg または航空会社に言われた重量を超えないか確認して下さい
- 手荷物は 7kg 以下で一つのみであることを確認して下さい。
- スーツケースを持って来て、持てないようなら重すぎるということです。
- 出発当日に荷物の重量が超過しているのに、勝手に大丈夫だろうと見込まないようにして下さい。オーストラリアではチェックインは厳しく、重量超過荷物は高額を支払わなければなりません。
- 帰国の際、もし過剰な荷物がある場合、ホストファミリー宅に置いていかないで下さい。
- パスポートはスーツケースの中ではなく、手荷物に入れて下さい。
- 疑問がある場合、空港に着く前にグループコーディネーターか引率者に相談して下さい。
- 荷造りをする時、国際線の液体に関する規則を忘れないで下さい。—例えばすべての液体やジェルは 100ml を超えない容器に入れる必要があります。



STUDY TREK
AUSTRALIA

Part 7: 言動に関する注意点 (Appropriate Behaviour)

ホストファミリーの皆さんに対する言動については、その人の意図に関わらず、皆さん個人の合理的なもの
の見方と解釈によって判断できてしまうと知っておいてください。気になる言動があった場合、以下のポ
イントを考えてみましょう。

- その言動によって不愉快な思いをさせられたか、それとも自分を奨励する言動なのか
- その言動は自分にとって屈辱的だった、もしくは恥ずかしい思いをさせられたか、または威嚇的な言動
だったか

以下は差別的、又はセクハラに相当する言動の例です。

- 人に対して脅迫、中傷するようふるまったり話したりすること。
- 人種、肌の色、人種的背景、障害、性、性的な体の特徴についてからかったり、挑発的なコメントをし
たり、不快にさせる身振りをする
- 性的に露骨なポスターや漫画やジョークなどの不快なものを見せられる
- 皆さんの私生活についてしつこく聞いてくる
- 容姿や体の大きさ、身なりなどについて個人的に攻撃するような発言
- 直接的、又は暗示的に性的な行為を要求される
- 望んでいない故意的な身体的接触
- 暴力的かつ違法行為このような許されない行動が見られた場合は即座に STA コーディネーターに報告し
てください。
- STA は法律の下で、セクハラに関するすべての出来事を警察に報告する義務があります。以下のことを
忘れずに！
- ホストファミリーの全員とコミュニケーションを取りましょう。そしてお手伝いするようにしましょう
。
- いつも“please” と “Thank you” を忘れないで下さい(とても重要です)。
- 現実的な期待を持ちましょう。
- 周りの人たちに尊敬と感謝の意を示しましょう。
- 必要な時は遠慮なく助けを求めましょう。
- 笑顔、挨拶を忘れないようにしましょう。
- ホストファミリーと外出する時は自分の分は自分で払いましょう。
- 規則に従いましょう。
- 決して見知らぬ人の車に乗ったり、家に入ってはいけません。
- ホスファミリーが変更になったり、する場合でも現在のホストファミリーの前で決して以前のホストフ
ァミリーのことを批判しないで下さい。陰で自分たちがどんなふうに言われているんだろうと気にして
しまいます。



STUDY TREK
AUSTRALIA

How to Wear a Seatbelt Properly シートベルトの正しい着用方法

1. Sit upright in your seat

座席にまっすぐ座る

2. Buckle your seatbelt securely until it clicks

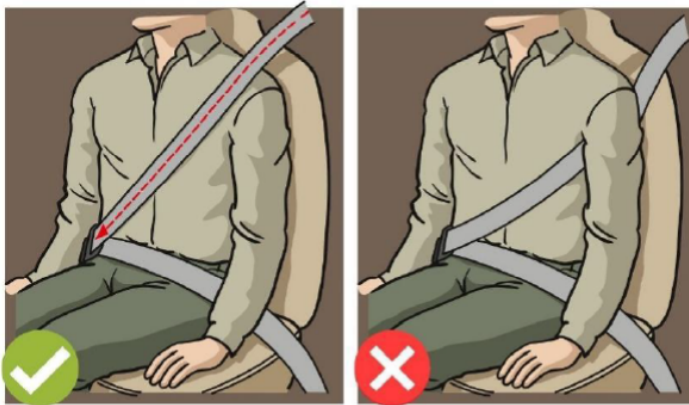
シートベルトをカチッと音がするまでしっかりと締めます

3. Always wear a seatbelt in the back seat as well

後部座席でも必ずシートベルトを着用してください

4. Adjust the belt to the correct position

ベルトを正しい位置に調整します



Things You Must Not Do してはいけないこと

- Do not share one seatbelt with another person

他の人とシートベルトを共有しないでください

- Do not place the belt behind your back or under your arm

ベルトを背中や脇の下に通さないでください

オーストラリアでの滞在が思い出深く、実りのある経験になりますように。最も重要なのはこのホームステイ体験を楽しむことです。

ルールを守り、安全に気を付けて、とっても楽しい時間を過ごしてください！



STUDY TREK
AUSTRALIA



**STUDY TREK
AUSTRALIA**

This remains the property of Study Trek Australia.

All Study Trek Australia materials are protected by copyright law.

Copyright ©2024 Study Trek Australia

The publication or any portion thereof may not be reproduced, altered, translated or used in any manner whatsoever without the express written permission of Study Trek Australia.